

安野光雅

# 文学の絵本

「ちくま日本文学全集」の装画



「宮沢賢治」©空想工房

2025年3月5日(水) ▶ 6月9日(月)

開館 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 火曜日 祝祭日の場合は翌日休館

4/29(火)開館・4/30(水)休館、5/6(火)開館・5/7(水)休館

入館料 一般1,000円、中高生600円、小学生400円

場所 京都府京丹後市久美浜町谷764 和久傳ノ森

TEL/FAX 0772-84-9901

主催 森の中の家 安野光雅館  
出展協力 津和野町立安野光雅美術館

森の中の家

安野光雅館



和久傳



# 安野光雅 文学の絵本

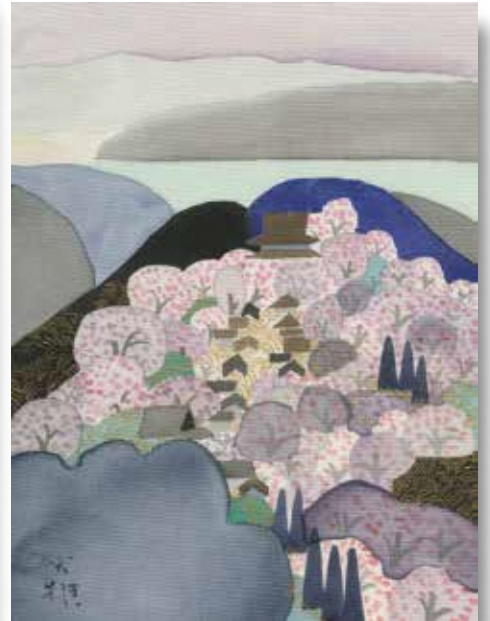
(津和野町立安野光雅美術館 所蔵)



「菊池寛」© 空想工房



「中島敦」© 空想工房



「谷崎潤一郎」© 空想工房



写真: 関野吹次



提供: 安野光雅美術館

安藤忠雄 (あんどう ただお)

安野光雅 (あんの みつまさ)

建築家。1941年大阪生まれ。代表作に「光の教会」「フォートワース現代美術館」「プンタ・デラ・ドガーナ」など。

画家。(1926年-2020年)94才逝去。絵本作家としてデビューとなった「ふしぎなえ」は世界中で好評となった代表作。

「誰も知らない心の中を美しく装いたい」そのために本を読むと安野光雅はいう。「なぜ私が本が好きで、人に本を薦めるかという、自分の面白かった世界をみんなに知ってもらいたいだけなのだ」(『本が好き』より) 宮沢賢治、夏目漱石、谷崎潤一郎、川端康成 等々名だたる文豪の作品のカバーを描いた安野光雅。

『ちくま日本文学全集』の装画43点を原画でお愉しみてください。

## 和久傳ノ森

植物生態学者の宮脇昭先生のご指導により、2007年より手がけた和久傳ノ森は、自然の恵みに感謝し、美しい地球環境を守っていききたいという願いをこめたものです。五十六種類の樹々三万本を苗木から植え、森が育ってきました。山椒の木やフキノトウなど四季折々の自然が息づいています。

## 和久傳の工房

豊かな自然の中で原材料を吟味し、地元の食材もふんだんに使用し、一つ一つ丁寧に手作りしております。れんこん菓子『西湖(せいこ)』、ちりめん山椒などの製造工程を回廊よりご自由にご覧頂けます。

## 画家・安野光雅の世界が、建築家・安藤忠雄の設計による美術館に広がる



### 交通のご案内

- 鉄道利用 京都市丹後鉄道 久美浜駅、峰山駅から丹海バス 久美浜線「谷工業団地前」下車、徒歩5分。和久傳ノ森におこしください。
- タクシー 京丹後鉄道 久美浜駅から15分 京丹後鉄道 峰山駅から25分 JR豊岡駅から35分
- お車の方 京都縦貫道 京丹後大宮IC下車25分
- 駐車場 美術館前 バス台、普通車100台
- 駐車料金 無料



京都府京丹後市久美浜町谷764 和久傳ノ森

TEL・FAX:0772(84)9901



### 工房レストラン

### wakuden MORI (モーリ)

〈和久傳ノ森〉のシンボルツリーとして植樹されている桑の木を表わすイタリア語「モーリ」より名付けられた工房レストランwakuden MORI では、京丹後で収穫された野菜や魚を中心に、地元産の食材にこだわった食事やCaféでのお菓子やお飲み物をお召し上がりいただけます。併設しております美術館グッズ・限定品を揃えるショップではお買い物もお楽しみいただけます。

レストランのお問い合わせはこちら

営業時間 10:00~18:00(ラストオーダー17:30)

TEL:0772(84)9898 FAX:0772(84)9899

休業日は美術館と同じです。

